

航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成27年4月～平成27年9月)

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|-----|-------------------|-----------------------|--------|---------|----------|--|----------|
| 4/1 | 日本航空 | ボーイング式777-300型 | JA8941 | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 出発前の点検中、非常時に乗降用扉を開ける装置の不具合を発見した。 | |
| 4/1 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA215J | 大阪国際空港 | 花巻空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/2 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8971 | 那覇空港 | 成田国際空港 | 離陸時、最大離陸重量を超過した。 | |
| 4/2 | 琉球エアークommunicuter | デ・ハビランド式DHC-8-103型 | JA8972 | 多良間空港 | 宮古空港 | 到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。 | |
| 4/3 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA03RJ | 広島空港 | 成田国際空港 | 着陸時、右主翼端を滑走路に接触させた。 | |
| 4/3 | エアー・ジャパン | ボーイング式767-300型 | JA624A | ヤンゴン | 成田国際空港 | 離陸後、飛行禁止区域を飛行した。 | |
| 4/3 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA20MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/3 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA23MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/4 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA822A | 成田国際空港 | シアトル | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/4 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA604A | 那覇空港 | 成田国際空港 | 離陸時、最大離陸重量を超過した。 | |
| 4/4 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA743J | 東京国際空港 | パリ | 運航整備中、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。 | |
| 4/4 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8670 | 高松空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/4 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA05MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/4 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA08MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/4 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA02JJ | 福岡空港 | 成田国際空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 4/5 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8299 | 東京国際空港 | 徳島空港 | 着陸進入時、滑走路上の作業車両を確認したため、着陸復行した。 | 重大インシデント |
| 4/5 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA780A | 成田国際空港 | サンフランシスコ | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/5 | 琉球エアークommunicuter | ボンバルディア式DHC-8-314型 | JA8936 | 那覇空港 | 与論空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 4/5 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA09MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/6 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA826J | モスクワ | 成田国際空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚及び脚扉が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 4/6 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA810X | 宮崎空港 | 東京国際空港 | 上昇中、左右の速度表示に差異があることを示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 4/6 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA814A | 東京国際空港 | 成田国際空港 | 着陸時、最大着陸重量を超過した。 | |
| 4/6 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA07MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/6 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA06MC | 東京国際空港 | 北九州空港 | 社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/6 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA04RJ | | | 社内確認の結果、補助動力装置の滑油冷却器の交換期限を超過していることが判明した。 | |
| 4/7 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8525 | 新石垣空港 | 那覇空港 | 離陸滑走中、鳥と衝突したため、離陸を中止した。 | イレギュラー運航 |
| 4/7 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA732J | ロンドン | 東京国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/7 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA736J | フランクフルト | 成田国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/8 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA08KZ | 関西国際空港 | シンガポール | 巡航中、気流の擾乱により管制指示高度を逸脱した。 | |
| 4/8 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA008D | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 上昇中、第2エンジンから異音及び振動が発生したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 4/8 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA04FJ | | | 整備の実施状況の確認の結果、パイロンの点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 4/8 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA804X | 熊本空港 | 東京国際空港 | 整備作業後の確認に不備があった。 | |
| 4/8 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA735J | ニューヨーク | 成田国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/8 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA739J | ロンドン | 東京国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/8 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA740J | ロサンゼルス | 成田国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/9 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA323J | 青森空港 | 東京国際空港 | 離陸時、鳥衝突により第2エンジンの吸音板が損傷した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|-----------------------|--------|---------|--------|---|----------|
| 4/9 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA11KZ | | | 定時点検中、貨物室内の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 4/9 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA331J | 帯広空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/9 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA742J | ロサンゼルス | 成田国際空港 | 自理事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/9 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA04FJ | | | 自理事例の水平展開の結果、非常脱出用スライドの点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 4/9 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA854A | 新潟空港 | 新千歳空港 | 出発前の点検中、客室内の酸素ボトルの圧力が0になっていることを発見した。 | |
| 4/10 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA306K | 石垣空港 | 那覇空港 | 離陸中止した際、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/10 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8360 | 東京国際空港 | 岡山空港 | 運用許容基準の適用に不備があった。 | |
| 4/10 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA738J | ロサンゼルス | 成田国際空港 | 自理事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/10 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA741J | ニューヨーク | 成田国際空港 | 自理事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/10 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA209J | 新千歳空港 | 秋田空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/11 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA08KZ | フランクフルト | ミラノ | 降下中、右燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。 | |
| 4/11 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA734J | ニューヨーク | 成田国際空港 | 自理事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/11 | エアー・ジャパン | ボーイング式767-300型 | JA622A | 青島(中国) | 成田国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 4/13 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA601A | | | 定時整備中、右側前方のサービス扉の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 4/14 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA06FJ | 名古屋飛行場 | 熊本空港 | 運航乗務員が必要な訓練を受けずに乗務したことが判明した。 | |
| 4/14 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NU | 福岡空港 | 百里飛行場 | 地上走行中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 4/14 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA07KZ | | | 定時整備中、右主脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した | |
| 4/14 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8938 | | | 定時整備中、右主翼の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 4/14 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA207J | 新千歳空港 | 秋田空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、操作レバーの位置と前脚の位置が不一致であることを示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 4/15 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8365 | 徳島飛行場 | 東京国際空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/15 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA601A | | | 定時整備中、左側パイロンのパネル切り欠き部に亀裂を発見した。 | |
| 4/15 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8597 | 新石垣空港 | 那覇空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/15 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8998 | 那覇空港 | 宮古空港 | 到着後、前方乗降用扉に不具合が発生した。 | |
| 4/15 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA312J | 台北 | 成田国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 4/15 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA319J | 新千歳空港 | 福岡空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 4/16 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA305J | 北京 | 成田国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/16 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NF | 神戸空港 | 百里飛行場 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/16 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA03JJ | | | 定時整備中、非常用風力発電機(ラムエア・タービン)が誤作動した。 | |
| 4/16 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8394 | 東京国際空港 | 大分空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/17 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8365 | 東京国際空港 | 那覇空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/17 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA716A | 東京国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/18 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA339J | 大阪国際空港 | 成田国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 4/18 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA804X | 熊本空港 | 東京国際空港 | 巡航中、一時的に操縦性の低下があった。 | |
| 4/18 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA804X | 宮崎空港 | 東京国際空港 | 巡航中、一時的に操縦性の低下があった。 | |
| 4/18 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA804X | 東京国際空港 | 熊本空港 | 巡航中、一時的に操縦性の低下があった。 | |
| 4/18 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8324 | 松山空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/18 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA825J | ホーチミン | 成田国際空港 | 到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。 | |
| 4/20 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NQ | 東京国際空港 | 那覇空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|----------------------|--------|---------|----------|--|----------|
| 4/20 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NT | 新千歳空港 | 神戸空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 4/20 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA98AD | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 4/21 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA805X | 那覇空港 | 石垣空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 4/21 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA8359 | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/22 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737R | | | 定時整備中、化粧室内のプラカードに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 4/22 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA329J | 東京国際空港 | 青森空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 4/22 | 日本トランスオシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8994 | | | 整備品整備中、客室内の水消火器に不具合を発見した。 | |
| 4/23 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA805X | 羽田空港 | 宮崎空港 | 降下中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 4/23 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | 成田国際空港 | アムステルダム | 着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/23 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA733J | 東京国際空港 | サンフランシスコ | 巡航中、乗客用座席のテーブルが外れた。 | |
| 4/23 | 朝日航洋 | エアロバス式AS355N型 | JA6738 | | | テールブーム後部右側に亀裂を発見した。 | |
| 4/23 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA03RJ | 仙台空港 | 大阪国際空港 | 整備作業後の確認に不備があった。 | |
| 4/24 | 琉球エアークommuter | ボンバルディア式DHC-8-314型 | JA8936 | 与論空港 | 那覇空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/24 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | ミラノ | 成田国際空港 | 着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/24 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA02JJ | 熊本空港 | 成田国際空港 | 離陸滑走中、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。 | |
| 4/24 | 琉球エアークommuter | デ・ハビランド式DHC-8-103型 | JA8972 | 石垣空港 | 宮古空港 | 進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。 | イレギュラー運航 |
| 4/25 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | 成田国際空港 | アンカレッジ | 着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/25 | 琉球エアークommuter | ボンバルディア式DHC-8-314型 | JA8936 | 久米島空港 | 那覇空港 | 離陸前、第1エンジンの出力が低下した。 | |
| 4/26 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA806P | 松山空港 | 関西国際空港 | 定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。 | |
| 4/27 | バニラ・エア | エアバス式A320-214型 | JA04VA | 新千歳空港 | 成田国際空港 | 運用許容基準の適用に不備があった。 | |
| 4/27 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA8967 | 大阪国際空港 | 東京国際空港 | 進入中、鳥衝突により第1エンジンのファン出口ガイドベーンが損傷した。 | |
| 4/28 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | 成田国際空港 | アンカレッジ | 着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/28 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA202J | 大阪国際空港 | 秋田空港 | 進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/28 | 日本トランスオシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8993 | 那覇空港 | 福岡空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 4/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA07RJ | 大分空港 | 中部国際空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 4/30 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA06RJ | 小松飛行場 | 福岡空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/30 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | アムステルダム | ミラノ | 着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 4/30 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NK | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、客室内の非常口表示パネルの一部に表記不足のものが判明した。 | |
| 5/2 | 春秋航空日本 | ボーイング式737-800型 | JA01GR | 佐賀空港 | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/2 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA06RJ | 広島空港 | 仙台空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 5/2 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA735J | 成田国際空港 | ニューヨーク | 巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 5/2 | バニラ・エア | エアバス式A320-214型 | JA05VA | 新千歳空港 | 成田国際空港 | 運用許容基準の適用に不備があった。 | |
| 5/2 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8997 | 東京国際空港 | 佐賀空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/4 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA809P | 関西国際空港 | ソウル(仁川) | 降下中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 5/5 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA755A | 東京国際空港 | 那覇空港 | 降下中、操縦室内で異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。 | |
| 5/6 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8579 | 東京国際空港 | 稚内空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 5/6 | 日本エアコミューター | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA843C | | | 定時整備中、左主翼の下面に腐食を発見した。 | |
| 5/6 | 日本トランスオシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8938 | 那覇空港 | 福岡空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|-----------------------|--------|----------|--------|--|----------|
| 5/7 | パニラ・エア | エアバスA320-216型 | JA02VA | 成田国際空港 | 台北(桃園) | 危険物を誤輸送した。 | |
| 5/8 | 琉球エア・コミュニーター | デ・ハビランド式DHC-8-103型 | JA8935 | 那覇空港 | 下地島空港 | 離陸後、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 5/8 | ピーチ・アビエーション | エアバスA320-214型 | JA803P | 那覇空港 | 関西国際空港 | 定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。 | |
| 5/8 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA736A | ニューヨーク | 成田国際空港 | 到着後、危険物が漏洩していることを発見した。 | |
| 5/9 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA829J | 成田国際空港 | サンディエゴ | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/9 | 日本エア・コミュニーター | サブ式SAAB340B型 | JA8900 | 鹿児島空港 | 奄美空港 | 巡航中、第2エンジンの前段部の圧縮機が氷を吸引し損傷した。 | |
| 5/9 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA218J | 仙台空港 | 福岡空港 | 上昇中、電波高度計の不具合により、対地接近警報装置が誤作動した。 | |
| 5/10 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA304K | 仙台空港 | 大阪国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/11 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA803X | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 巡航中、一時的に操縦性の低下があった。 | |
| 5/11 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NY | 長崎空港 | 神戸空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 5/11 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737N | 仙台空港 | 神戸空港 | 運航整備中、右主翼の高揚力装置(フラップ)の後縁部に剥離を発見した。 | |
| 5/12 | 新中央航空 | ドルニエ式Dornier228-212型 | JA31CA | 三宅島空港 | 調布飛行場 | 巡航中、第2エンジンのトルク計の指示が不安定となった。 | |
| 5/12 | 新中央航空 | ドルニエ式Dornier228-212型 | JA32CA | 新島空港 | 調布飛行場 | 機内の確認中、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 5/12 | 天草エアライン | デ・ハビランド式DHC-8-103型 | JA81AM | 天草飛行場 | 福岡空港 | 上昇中、対地接近警報装置が誤作動したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 5/17 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA16KZ | ニューヨーク | アンカレッジ | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 5/17 | ジェットスター・ジャパン | エアバスA320-232型 | JA05JJ | 成田国際空港 | 福岡空港 | 不具合の修理持ち越し処置に不備があった。 | |
| 5/18 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA619A | 瀋陽(中国) | 成田国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/18 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA8419 | 大阪国際空港 | 福岡空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 5/19 | ANAウイングス | ボーイング式737-800型 | JA54AN | 新千歳空港 | 静岡空港 | 運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。 | |
| 5/19 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NG | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 5/19 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA601A | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 到着後の点検中、異なる機種種の安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。 | |
| 5/19 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA708J | シンガポール | 東京国際空港 | 降下中、管制指示経路から逸脱した。 | |
| 5/19 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA622A | デリー(インド) | 成田国際空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 5/20 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA820A | 東京国際空港 | パリ | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/20 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA74AN | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/20 | 全日本空輸 | エアバスA320-211型 | JA839A | 庄内空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/20 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA736A | 成田国際空港 | シンガポール | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/20 | スターフライヤー | エアバスA320-214型 | JA20MC | マニラ | 北九州空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/21 | 全日本空輸 | エアバスA320-211型 | JA830A | 東京国際空港 | 鳥取空港 | 離陸後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 5/21 | ジェットスター・ジャパン | エアバスA320-232型 | JA13JJ | 成田国際空港 | 大分空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の一部機能が不動作となった。 | |
| 5/22 | スターフライヤー | エアバスA320-214型 | JA20MC | 福岡空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/22 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA803X | 大分空港 | 東京国際空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。 | |
| 5/23 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA833J | 関西国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/23 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NX | 神戸空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/23 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8988 | 東京国際空港 | 那覇空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 5/23 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA601J | 上海(浦東) | 成田国際空港 | 運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。 | |
| 5/23 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA220J | 大阪国際空港 | 花巻空港 | 離陸後、客室高度が上昇したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 5/23 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA222J | 大阪国際空港 | 山形空港 | 上昇中、前方乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|--------------------|--------|----------|--------|--|----------|
| 5/24 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA18KZ | ニューヨーク | 成田国際空港 | 到着後、危険物の搭載方法に不備があったことが判明した。 | |
| 5/24 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA306K | 福岡空港 | 仙台空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/25 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA825J | バンクーバー | 成田国際空港 | 降下中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 5/25 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA356K | | | 定時整備中、胴体前方左側の切り欠き部に亀裂を発見した。 | |
| 5/25 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA13KZ | サンフランシスコ | 成田国際空港 | 上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 5/26 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA741J | ニューヨーク | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/26 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA828A | 成田国際空港 | サンノゼ | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/26 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA834J | 成田国際空港 | サンディエゴ | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/26 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA610J | 成田国際空港 | 中部国際空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 5/26 | オリエンタルエアブリッジ | ボンバルディア式DHC-8-201型 | JA802B | 対馬空港 | 長崎空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示すライトが点灯した。 | |
| 5/27 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8996 | 小松飛行場 | 那覇空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 5/28 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA801X | 仙台空港 | 東京国際空港 | 耐久証明検査中、一部の化粧室の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 5/28 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA16KZ | 成田 | ロサンゼルス | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 5/28 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA336J | 広島空港 | 東京国際空港 | 離陸時、鳥と衝突し、第2エンジンの振動値が高い計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 5/28 | オリエンタルエアブリッジ | ボンバルディア式DHC-8-201型 | JA801B | 仙台空港 | 長崎空港 | 整備作業中、方向舵の制御装置の電気配線が未接続であることを発見した。 | |
| 5/29 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA54AN | 東京国際空港 | 宮崎空港 | 離陸滑走中、前方乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。 | |
| 5/29 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA11JJ | 福岡空港 | 成田国際空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 5/29 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA615J | 東京国際空港 | 大分空港 | 運航整備中、燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。 | |
| 5/29 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA17KZ | アムステルダム | 成田国際空港 | 到着後、危険物が漏洩していることを発見した。 | |
| 5/29 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA802X | 東京国際空港 | 大分空港 | 出発前、客室乗務員用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 5/29 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8364 | | | 整備品整備中、操縦室の座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。 | |
| 5/31 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA803X | | | 定時整備中、エンジン用の消火ボルトの圧力計の指示が低下していたことを発見した。 | |
| 6/1 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737P | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。 | |
| 6/1 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA307J | 東京国際空港 | 熊本空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/2 | バニラ・エア | エアバス式A320-214型 | JA06VA | 成田国際空港 | 新千歳空港 | 離陸後、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/2 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA8596 | 仙台空港 | 成田国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/2 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA741A | 東京国際空港 | 函館空港 | 降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 6/2 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8938 | | | 整備作業後の確認の結果、整備作業の処置に不備があることが判明した。 | |
| 6/3 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA80AN | 那覇空港 | 新千歳空港 | 離陸滑走中、前方を回転翼航空機が横切ったため離陸を中止した。 | 重大インシデント |
| 6/3 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8938 | 石垣空港 | 那覇空港 | 離陸を中止した航空機が滑走路を離脱する前に着陸した。 | 重大インシデント |
| 6/3 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA13KZ | | | 整備作業中、第4エンジンの取り付け部の一部の部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。 | |
| 6/4 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA618J | ホルルル | 成田国際空港 | 降下中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 6/4 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NK | 東京国際空港 | 福岡空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/4 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8357 | | | 整備作業中、右主翼下面の外板に腐食を発見した。 | |
| 6/4 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA08MC | | | 整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/4 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA09MC | | | 整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/4 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA20MC | | | 整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA606A | 新石垣空港 | 東京国際空港 | 上昇中、操縦室内で異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、目的地を変更した。 | イレギュラー運航 |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|----------------------|--------|--------|--------|---|----------|
| 6/5 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA11AN | 東京国際空港 | 釧路空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8313 | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8396 | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8946 | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8947 | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8997 | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA801P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA802P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA803P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA808P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA809P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/5 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA810P | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/6 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA780A | シアトル | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/6 | バニラ・エア | エアバス式A320-216型 | JA03VA | | | 定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 6/6 | 全日本空輸 | ボーイング式787-9型 | JA836A | ミュンヘン | 成田国際空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 6/6 | バニラ・エア | エアバス式A320-216型 | JA01VA | | | 整備作業の確認の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/6 | バニラ・エア | エアバス式A320-216型 | JA02VA | | | 整備作業の確認の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/7 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA812X | 那覇空港 | 鹿児島空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 6/7 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8998 | | | 定時整備中、左右主翼の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 6/8 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA787A | | | 定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA09JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA10JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA11JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA15JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA13JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA12JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA14JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA16JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA17JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/8 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA18JJ | | | 他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。 | |
| 6/9 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA07RJ | 小松飛行場 | 仙台空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/10 | バニラ・エア | エアバス式A320-214型 | JA04VA | 台北(桃園) | 成田国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/11 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA01HD | 旭川空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。 | |
| 6/11 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA610J | 台北(桃園) | 成田国際空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 6/12 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA829J | 関西国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/12 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA812P | 福岡空港 | 関西国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/12 | 日本エアコミューター | サーブ式SAAB340B型 | JA8649 | 徳島飛行場 | 福岡空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/12 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA851A | 熊本空港 | 中部国際空港 | 上昇中、客室高度が高いことを示すライトが点灯したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|----------------|--------|--------|--------|---|----------|
| 6/13 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA803X | 東京国際空港 | 熊本空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 6/13 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA07JJ | 新千歳空港 | 成田国際空港 | 降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 6/14 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NN | 福岡空港 | 那覇空港 | 離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/14 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA810X | 那覇空港 | 中部国際空港 | 危険物が誤輸送された。 | |
| 6/14 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA713A | 東京国際空港 | 熊本空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/15 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NL | 新千歳空港 | 福岡空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/15 | 日本航空 | ボーイング式777-300型 | JA751J | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、第2エンジンのファンケース内部のパネルに損傷を発見した。 | |
| 6/15 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA15AN | 神戸空港 | 新千歳空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 6/16 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NG | 東京国際空港 | 福岡空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 6/18 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA804P | 関西国際空港 | 新石垣空港 | 巡航中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 6/18 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA814P | 関西国際空港 | 那覇空港 | 巡航中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 6/18 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA317J | 台北(桃園) | 中部国際空港 | 巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 6/18 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA12JJ | 成田国際空港 | 福岡空港 | 進入中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/18 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA12JJ | 福岡空港 | 成田国際空港 | 出発時、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/18 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA12JJ | 成田国際空港 | 新千歳空港 | 地上走行中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/19 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73ND | 東京国際空港 | 那覇空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 6/19 | パニラ・エア | エアバス式A320-214型 | JA04VA | 成田国際空港 | 新千歳空港 | 整備作業後の確認に不備があった。 | |
| 6/19 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73ND | 那覇空港 | 東京国際空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 6/19 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA08AN | 帯広空港 | 東京国際空港 | 降下中、操作することが許容される位置を超えて、スピードブレーキレバーを操作した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8976 | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 上昇中、左右の速度表示に差異があったため、目的地を変更した。 | イレギュラー運航 |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8399 | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA601J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA603J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA604J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA605J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA606J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA607J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA608J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA609J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA610J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA611J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA612J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA613J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA614J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA615J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA616J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA617J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA618J | | | 自事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|-----------------------|--------|--------|--------|---|----------|
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA619J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA620J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA621J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA622J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA623J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA651J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA652J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA653J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA654J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA655J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA656J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA657J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA658J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA659J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8269 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8299 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8364 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8397 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8365 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8398 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8976 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8975 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8980 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8986 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8987 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8988 | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/19 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA602J | | | 自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。 | |
| 6/22 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA03FJ | 名古屋飛行場 | 北九州空港 | 出発前の点検中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。 | |
| 6/22 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA852A | 熊本空港 | 大阪国際空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。 | |
| 6/23 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA834J | ロサンゼルス | 関西国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/23 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NR | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。 | |
| 6/23 | パナシエ | エアバス式A320-214型 | JA08VA | 台北(桃園) | 成田国際空港 | 巡航中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 6/24 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA356K | 成田国際空港 | 仙台空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/24 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8399 | 東京国際空港 | 旭川空港 | 降下中、客室高度が上昇したことを示す計器表示があったため、航空交通管制上の優先権を要請し降下した。 | イレギュラー運航 |
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA204J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA205J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA206J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA207J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|-----------------------|--------|---------|--------|--|----------|
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA208J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/24 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA209J | | | 整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/25 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8991 | 新石垣空港 | 那覇空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/25 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA705A | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 6/26 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA755A | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 降下中、第1エンジンから異音及び振動が発生し、排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、着陸した。 | イレギュラー運航 |
| 6/26 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA801P | 関西国際空港 | 那覇空港 | 降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 6/26 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA218J | 鹿児島空港 | 大阪国際空港 | 上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 6/27 | 新中央航空 | ドルニエ式Dornier228-212型 | JA33CA | 調布飛行場 | 三宅島空港 | 巡航中、第2エンジンのトルク計の指示が不安定となったため引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 6/28 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737Z | 東京国際空港 | 東京国際空港 | 耐久証明検査飛行中、運用限界を超える速度で脚上げ操作した。 | |
| 6/28 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、左主脚格納室内の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 6/28 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、右主脚格納室内の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 6/28 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、右側前方のサービス扉の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 6/29 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA01FJ | 熊本空港 | 名古屋飛行場 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/29 | バニラ・エア | エアバス式A320-216型 | JA01VA | | | 装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。 | |
| 6/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA04RJ | 福島空港 | 大阪国際空港 | 整備作業後の確認に不備があった。 | |
| 6/30 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8525 | 那覇空港 | 関西国際空港 | 巡航中、抽気系統に不具合が発生し、客室高度が上昇したため、航空交通管制上の優先権を要請し、降下した。 | 重大インシデント |
| 6/30 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8525 | 那覇空港 | 関西国際空港 | 降下中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しなかった。 | |
| 6/30 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NG | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 6/30 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 6/30 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA717A | 東京国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 6/30 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8975 | 小松飛行場 | 東京国際空港 | 社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/30 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8399 | 東京国際空港 | 熊本空港 | 社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/30 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8299 | | | 社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 6/30 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8269 | | | 社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。 | |
| 7/1 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA009D | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/1 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA708J | シドニー | 成田国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式787-9型 | JA830A | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 福岡空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8323 | | | 定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。 | |
| 7/1 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA612J | ソウル(仁川) | 成田国際空港 | 降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式737-500型 | JA305K | | | 定時整備中、左主翼の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 7/1 | 全日本空輸 | ボーイング式737-500型 | JA305K | | | 定時整備中、右主翼の構造部に亀裂を発見した。 | |
| 7/1 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA08JJ | 成田国際空港 | 福岡空港 | 進入中、対地接近警報装置が誤作動した。 | |
| 7/2 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA701A | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/2 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 東京国際空港 | 大阪国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/2 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 大阪国際空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|------------------------|--------|--------|----------|--|----------|
| 7/2 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA740J | 成田国際空港 | フランクフルト | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 7/2 | 琉球エアコミューター | ボンバルディア式DHC-8-314型 | JA8936 | 那覇空港 | 久米島空港 | 離陸前、第1及び第2エンジンの出力が上昇しなかった。 | |
| 7/3 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8356 | 中部国際空港 | 那覇空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 7/4 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA706J | バンコク | 東京国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/6 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA809X | 東京国際空港 | 宮崎空港 | 進入中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 7/6 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA658J | 徳島飛行場 | 東京国際空港 | 離陸時、鳥と衝突し、第2エンジンの振動値が高い計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 7/6 | 琉球エアコミューター | ボンバルディア式DHC-8-314型 | JA8936 | 与論空港 | 那覇空港 | 到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。 | |
| 7/7 | 日本エアコミューター | サブ式SAAB340B型 | JA001C | 徳島飛行場 | 福岡空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/7 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA828A | | | 定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクから酸素が正常に供給されない不具合を発見した。 | |
| 7/7 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA830J | ボストン | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/7 | フジドリームエアラインズ | エンブラエルERJ170-200STD型 | JA06FJ | 新千歳空港 | 松本空港 | 巡航中、抽気系統に不具合が発生し、客室高度が上昇したため、航空交通管制上の優先権を要請し、目的地を変更した。 | 重大インシデント |
| 7/8 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NU | 神戸空港 | 那覇空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 7/8 | 春秋航空日本 | ボーイング式737-800型 | JA02GR | 成田国際空港 | 佐賀空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/9 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 那覇空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/10 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA778A | 成田国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/10 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA8404 | 長崎空港 | 那覇空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/10 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 大阪国際空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/10 | 日本航空 | ボーイング式777-300型 | JA752J | 大阪国際空港 | 那覇空港 | 進入復行中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 7/11 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 東京国際空港 | 福岡空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/11 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA703A | 福岡空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/11 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA01HD | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 出発時、乗客用座席からシートベルトが外れた。 | |
| 7/11 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8324 | 東京国際空港 | 稚内空港 | 進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/12 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8674 | 美保飛行場 | 東京国際空港 | 運航整備中、第1エンジンのファンブレードに鳥衝突による損傷を発見した。 | |
| 7/12 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8525 | 那覇空港 | 関西国際空港 | 出発前の点検中、方向舵の一部に損傷を発見した。 | |
| 7/12 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA659J | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/12 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA606J | シンガポール | 東京国際空港 | 誘導路から離陸のための滑走を開始した。 | 重大インシデント |
| 7/13 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NJ | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 7/13 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA12KZ | | | 定時整備中、高揚力装置(フラップ)が非常用作動しなかった。 | |
| 7/13 | フジドリームエアラインズ | エンブラエルERJ170-200STD型 | JA09FJ | 熊本空港 | 名古屋飛行場 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/14 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA12KZ | | | 定時整備中、右胴体脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した | |
| 7/15 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | シカゴ | フランクフルト | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/15 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA711J | ホルルル | 成田国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 7/15 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA304J | 関西国際空港 | 上海(浦東) | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/15 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA737J | 東京国際空港 | サンフランシスコ | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/15 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA309J | 大分空港 | 東京国際空港 | 中央燃料タンクの残量の運用限界を超過した。 | |
| 7/16 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA757A | 那覇空港 | 東京国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/16 | 日本航空 | ボーイング式777-300型 | JA8944 | 東京国際空港 | 那覇空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/16 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8395 | 東京国際空港 | 岩国飛行場 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|------------------------|--------|--------|----------|--|----------|
| 7/16 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA461A | 松山空港 | 中部国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 7/17 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8992 | 那覇空港 | 中部国際空港 | 離陸時、機体尾部を滑走路に接触させた。 | |
| 7/19 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA09FJ | 名古屋飛行場 | 熊本空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/20 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA79AN | 東京国際空港 | 庄内空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/20 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA781A | 成田国際空港 | サンフランシスコ | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/20 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA15AN | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 危険物を誤輸送した。 | |
| 7/20 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8324 | 那覇空港 | 高松空港 | 上昇中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 7/20 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA338J | 東京国際空港 | 関西国際空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 7/21 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA216J | 鹿児島空港 | 大阪国際空港 | 巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 7/21 | 朝日航洋 | ユーロプター式AS350B3型 | JA6509 | | | 認定事業場検査の確認の結果、外部ミラーの取付け部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 7/21 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA98AD | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 降下中、管制指示経路から逸脱した。 | |
| 7/22 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8946 | 大分空港 | 東京国際空港 | 離陸滑走中、鳥衝突により第1エンジンのファンブレード等が損傷した。 | |
| 7/23 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA811P | 仙台空港 | 関西国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/24 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA651J | 大分空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、第1エンジンのファンブレードに損傷を発見した。 | |
| 7/25 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA731J | シカゴ | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/25 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8674 | 東京国際空港 | 那覇空港 | 離陸後、鳥衝突により第2エンジンのファンブレード等が損傷した。 | |
| 7/25 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA217J | 大阪国際空港 | 長崎空港 | 離陸後、エンジンの抽気系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 7/26 | ANAウイングス | ボーイング式737-700型 | JA04AN | 新千歳空港 | 関西国際空港 | 到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 7/27 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA807X | 宮崎空港 | 東京国際空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 7/27 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA825A | 松山空港 | 東京国際空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 7/28 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NF | 東京国際空港 | 鹿児島空港 | 上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 7/28 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8364 | 旭川空港 | 東京国際空港 | 第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。 | |
| 7/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA08RJ | 広島空港 | 仙台空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 7/29 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NM | 東京国際空港 | 那覇空港 | 離陸中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 7/29 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA705J | | | 装備品整備中、非常脱出用スライドの不具合を発見した。 | |
| 7/29 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA736J | 成田国際空港 | 大阪国際空港 | 自社事例の水平展開の結果、非常脱出用スライドの不具合が判明した。 | |
| 7/30 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA10JJ | 福岡空港 | 中部国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 7/30 | 新中央航空 | ルアグ式Dornier228-212型 | JA35CA | 大島空港 | 調布飛行場 | 進入中、スタビライザートリムが正常に作動しなかった。 | |
| 7/31 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA462A | 松山空港 | 大阪国際空港 | 離陸後、客室高度が上昇した。 | |
| 7/31 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA04KZ | ロサンゼルス | 成田国際空港 | 到着後、危険物が漏洩していることを発見した。 | |
| 7/31 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA809A | 広島空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/1 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA07AN | 新千歳空港 | 神戸空港 | 出発準備中、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。 | |
| 8/1 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA601A | 東京国際空港 | 女満別空港 | 自社事例の水平展開の結果、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることが判明した。 | |
| 8/1 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA614A | 香港 | 関西国際空港 | 上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 8/2 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NY | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/3 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA05RJ | 福岡空港 | 宮崎空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/3 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8980 | 東京国際空港 | 函館空港 | 出発前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/4 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA04FJ | 名古屋飛行場 | 中標津空港 | 出発前の点検中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|------------------------|--------|--------|----------|---|----------|
| 8/4 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA755A | 東京国際空港 | 那覇空港 | 離陸滑走中、第1エンジンの抽気系統が不動作であることを示す計器表示があったため、離陸を中止した。 | |
| 8/4 | オリエンタルエアブリッジ | ボンバルディア式DHC-8-201型 | JA802B | 長崎空港 | 対馬空港 | 出発前の点検中、第1エンジンのプロペラ制御系統の不具合を発見した。 | |
| 8/4 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA206J | 宮崎空港 | 福岡空港 | 進入中、航法システムの精度が低下した。 | |
| 8/5 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA318J | 大分空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/6 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA08MC | 北九州空港 | 東京国際空港 | 到着後、運航に必要な規定が搭載されていないことが判明した。 | |
| 8/6 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NR | 福岡空港 | 百里飛行場 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 8/6 | 朝日航洋 | 川崎式BK117C-2型 | JA6933 | | | 定時整備中、テールロータードライブシャフトのベアリング取り付け部に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。 | |
| 8/6 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA07AN | 仙台空港 | 新千歳空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 8/7 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8368 | 大阪国際空港 | 那覇空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/7 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8997 | 岩国飛行場 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 8/7 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA619J | 成田国際空港 | クアラルンプール | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/7 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA329J | 東京国際空港 | 鹿児島空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 8/8 | ジェイエア | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA214J | 大阪国際空港 | 大分空港 | 降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 8/8 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737X | 那覇空港 | 神戸空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/8 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA852A | 新千歳空港 | 仙台空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/9 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA11KZ | 上海(浦東) | 成田国際空港 | 運航整備中、後方貨物室の火災を示す計器表示があったため、消火装置を作動させた。 | |
| 8/9 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8976 | 東京国際空港 | 函館空港 | 進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 8/10 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA735A | 東京国際空港 | フランクフルト | 離陸滑走中、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過したため、離陸を中止した。 | |
| 8/10 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA852A | 中部国際空港 | 秋田空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/10 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA852A | 秋田空港 | 中部国際空港 | 地上走行中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/10 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA659J | 女満別空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/10 | 日本エアコミューター | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA847C | 与論空港 | 鹿児島空港 | 上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 8/11 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA51AN | 東京国際空港 | 岡山空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/11 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA22MC | 山口宇部空港 | 東京国際空港 | 整備従事者が必要な定期訓練を受講せず整備の確認をしたことが判明した。 | |
| 8/11 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA21MC | マニラ | 北九州空港 | 整備従事者が必要な定期訓練を受講せず整備の確認をしたことが判明した。 | |
| 8/11 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA05RJ | 仙台空港 | 福岡空港 | 離陸後、第1エンジンの抽気系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 8/12 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA010D | 那覇空港 | 東京国際空港 | 着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 8/12 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737T | 仙台空港 | 神戸空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 8/12 | 日本エアコミューター | サーブ式SAAB340B型 | JA8649 | 鹿児島空港 | 松山空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 8/13 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA03RJ | 新潟空港 | 大阪国際空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 8/13 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA10JJ | 成田国際空港 | 新千歳空港 | 上昇中、乗降用扉の非常脱出スライドのレバーが脱出位置でないことを発見した。 | |
| 8/13 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA601A | 旭川空港 | 東京国際空港 | 降下中、管制指示高度を逸脱した。 | |
| 8/13 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA22MC | | | 装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。 | |
| 8/15 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA655J | 東京国際空港 | 那覇空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/16 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA20MC | 北九州空港 | 東京国際空港 | 離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/16 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NG | 中部国際空港 | 那覇空港 | 着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。 | |
| 8/17 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA812X | 東京国際空港 | 大分空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/17 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA8500 | | | 定時整備中、垂直安定板の構造部に腐食を発見した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|-----------------|-----------------------|--------|--------|----------|---|----------|
| 8/17 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA8500 | | | 定時整備中、右側水平尾翼の構造部に腐食を発見した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA04KZ | | | 整備作業後の確認の結果、燃料タンクパネルのガスケットに誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA06KZ | | | 社内確認の結果、燃料タンクパネルの整備作業期限を超過していることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-400F型 | JA07KZ | | | 社内確認の結果、燃料タンクパネルの整備作業期限を超過していることが判明した。 | |
| 8/18 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA808P | | | 装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。 | |
| 8/18 | ANAウイングス | ボーイング式737-500型 | JA301K | 福岡空港 | 対馬空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA12KZ | 成田国際空港 | 香港 | 出発準備中、貨物室内の階段の手すりを外れた。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA11KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA14KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA15KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA16KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA17KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/18 | 日本貨物航空 | ボーイング式747-8F型 | JA18KZ | | | 自理事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/19 | スターフライヤー | エアバス式A320-214型 | JA20MC | | | 装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。 | |
| 8/19 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA06JJ | 那覇空港 | 成田国際空港 | 離陸滑走中、飛行管理システムに不具合が生じた。 | |
| 8/19 | セントラルヘリコプターサービス | 川崎式BK117C-2型 | JA6934 | | | 他理事例の水平展開の結果、テールロータードライブシャフトのベアリング取り付け部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。 | |
| 8/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA07FJ | 鹿児島空港 | 静岡空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/22 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NQ | 東京国際空港 | 福岡空港 | 上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。 | |
| 8/23 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA820A | 成田国際空港 | デュッセルドルフ | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/24 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA09FJ | 花巻空港 | 名古屋飛行場 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/24 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NC | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 8/25 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA01HD | 函館空港 | 東京国際空港 | 到着後、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。 | |
| 8/25 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA07RJ | 仙台空港 | 大阪国際空港 | 地上走行中、整備用工具が乗客用座席上にあるのを発見した。 | |
| 8/25 | 全日本空輸 | ボーイング式737-700型 | JA06AN | 香港 | 中部国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/25 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA809A | 東京国際空港 | 広島空港 | 進入復行中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 8/26 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA06FJ | 名古屋飛行場 | 花巻空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 8/26 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA705A | 大阪国際空港 | 東京国際空港 | 離陸後、第1エンジンから異音及び振動が発生し、排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 8/26 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA201J | 青森空港 | 新千歳空港 | 運用許容基準の適用に不備があった。 | |
| 8/28 | 全日本空輸 | ボーイング式787-8型 | JA816A | | | 定時点検中、後方左側の乗降用扉の非常脱出用スライドが正常に作動しなかった。 | |
| 8/28 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA751A | 新千歳空港 | 東京国際空港 | 巡航中、操縦室内で一時的に異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。 | |
| 8/28 | 全日本空輸 | ボーイング式787-9型 | JA833A | 東京国際空港 | 福岡空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/28 | 全日本空輸 | ボーイング式787-9型 | JA833A | 福岡空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 8/28 | 第一航空 | バイキング式DHC-6-400型 | JA201D | 那覇空港 | 粟国空港 | 着陸後、滑走路を逸脱し同滑走路脇のフェンスを超えて停止した。 | 航空事故 |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA02RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA03RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA04RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA05RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA06RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|---------------|------------------------|--------|--------|--------|---|----------|
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA07RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA08RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA09RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA10RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/29 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA11RJ | | | 社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。 | |
| 8/30 | オリエンタルエアブリッジ | ボンバルディア式DHC-8-201型 | JA802B | 長崎空港 | 峯崎空港 | 離陸後、機体が飛行中か地上走行中かを検知するセンサーに不具合が発生したことを示すライトが点灯したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 8/30 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA777A | ヒューストン | 成田国際空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 8/30 | エアー・ジャパン | ボーイング式767-300F型 | JA602F | 成田国際空港 | 那覇空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 8/31 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA8364 | 那覇空港 | 大阪国際空港 | 第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。 | |
| 8/31 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NJ | 東京国際空港 | 鹿児島空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 8/31 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA09RJ | 仙台空港 | 中部国際空港 | 上昇中、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。 | |
| 8/31 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8939 | | | 耐空性改善通報が求める修理方法と異なる修理が行われた状態で運航したことが判明した。 | |
| 8/31 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA205J | 新千歳空港 | 女満別空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 9/1 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8997 | 東京国際空港 | 能登空港 | 進入復行中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 9/2 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA327J | 東京国際空港 | 松山空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/2 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA302J | 高松空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/2 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA743A | 大阪国際空港 | 東京国際空港 | 着陸時、客室の調理室内のゴミ箱が飛び出した。 | |
| 9/2 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA203J | 新千歳空港 | 青森空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 9/2 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA04JJ | 新千歳空港 | 中部国際空港 | 上昇中、誤って乗降用扉の非常脱出スライドのレバーを脱出位置から変更した。 | |
| 9/4 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737U | 福岡空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/5 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA751A | 東京国際空港 | 新千歳空港 | 運航に必要な情報が運航乗務員に提供されていなかった。 | |
| 9/6 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA808X | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/6 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA807P | 関西国際空港 | 新千歳空港 | 降下中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/6 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA615J | グアム | グアム | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/6 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA807P | 福岡空港 | 那覇空港 | 進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。 | |
| 9/6 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8993 | 中部国際空港 | 那覇空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 9/7 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737Y | 東京国際空港 | 那覇空港 | 巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。 | |
| 9/7 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA741J | 成田国際空港 | ロサンゼルス | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/8 | 日本航空 | ボーイング式767-300型 | JA658J | 東京国際空港 | 熊本空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/8 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA742J | | | 定時整備中、乗客用の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 9/9 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA850A | 長崎空港 | 長崎空港 | 離陸滑走中、第2エンジンの出力が上昇しなかったため、離陸を中止した。 | |
| 9/9 | AIRDO | ボーイング式737-700型 | JA07AN | 帯広空港 | 東京国際空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 9/9 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73ND | 新千歳空港 | 中部国際空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/9 | 日本トランスオーシャン航空 | ボーイング式737-400型 | JA8993 | 宮古空港 | 東京国際空港 | 巡航中、中央燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。 | |
| 9/10 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA461A | 中部国際空港 | 熊本空港 | 上昇中、客室高度が上昇したため、引き返した。 | イレギュラー運航 |
| 9/10 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA837J | パリ | 成田国際空港 | 機長に通知せず、危険物を輸送した。 | |
| 9/10 | 日本航空 | ボーイング式787-8型 | JA834J | 成田国際空港 | サンディエゴ | 離陸後、無申告危険物を輸送したことが判明した。 | |
| 9/11 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA812P | | | 定時整備中、航空機救命無線機が不動作であることを発見した。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|------------------------|--------|---------|-------------|---|----|
| 9/11 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA716A | 東京国際空港 | ロサンゼルス | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/11 | ピーチ・アビエーション | エアバス式A320-214型 | JA803P | 福岡空港 | 那覇空港 | 進入中、ウインドシアー警報が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/11 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA57AN | 東京国際空港 | 富山空港 | 着陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレード等が損傷した。 | |
| 9/13 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737T | 那覇空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/14 | 全日本空輸 | エアバス式A320-211型 | JA8947 | 新千歳空港 | 大阪国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/14 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737Y | 東京国際空港 | 那覇空港 | 降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/15 | ジェットスター・ジャパン | エアバス式A320-232型 | JA20JJ | 那覇空港 | 関西国際空港 | 進入中、ウインドシアー警報が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/15 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300型 | JA752A | 東京国際空港 | 福岡空港 | 進入中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/16 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA207J | 仙台空港 | 新千歳空港 | 巡航中、第1エンジンの回転数が運用限界を超過した。 | |
| 9/17 | 全日本空輸 | ボーイング式777-300ER型 | JA779A | シカゴ | 成田国際空港 | 離陸時、客室天井のパネルが落下した。 | |
| 9/18 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA205J | 新千歳空港 | 秋田空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 9/18 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8356 | | | 定時整備中、胴体の構造部に腐食を発見した。 | |
| 9/19 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8395 | 岩国飛行場 | 東京国際空港 | 進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/19 | 全日本空輸 | ボーイング式787-9型 | JA833A | 東京国際空港 | 福岡空港 | 進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA04FJ | | | 整備作業後の確認の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA01FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA02FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA03FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA05FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA06FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。 | |
| 9/20 | アイベックスエアラインズ | ボンバルディア式CL-600-2C10型 | JA07RJ | 中部国際空港 | 福岡空港 | 離陸後、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。 | |
| 9/20 | ジェイエア | ボンバルディア式CL-600-2B19型 | JA205J | 大阪国際空港 | 松山空港 | 出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。 | |
| 9/21 | 全日本空輸 | ボーイング式737-800型 | JA51AN | | | 定時整備中、乗客用の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。 | |
| 9/22 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA01FJ | 名古屋飛行場 | 福岡空港 | 離陸滑走中、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードが損傷した。 | |
| 9/22 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA856A | 宮崎空港 | 福岡空港 | 離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚扉が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。 | |
| 9/22 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA310J | 台北(松山) | 成田国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/22 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NN | 東京国際空港 | 福岡空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/22 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NN | 福岡空港 | 東京国際空港 | エンジン始動後、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/22 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NP | 鹿児島空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/23 | 朝日航洋 | 川崎式BK117C-2型 | JA6910 | 群馬ヘリポート | 館林高等学校グラウンド | 着陸時、主回転翼のシャフトにかかる荷重が運用限界を超過した。 | |
| 9/23 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8356 | | | 定時整備中、左側パイロンの構造部に亀裂を発見した。 | |
| 9/23 | 全日本空輸 | ボーイング式767-300型 | JA8356 | | | 定時整備中、右側水平尾翼の構造部に腐食を発見した。 | |
| 9/23 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NQ | 福岡空港 | 東京国際空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/23 | 全日本空輸 | エアバス・インダストリー式A320-200型 | JA8400 | 東京国際空港 | 岡山空港 | 整備作業後の確認に不備があった。 | |
| 9/24 | 日本航空 | ボーイング式777-300ER型 | JA736J | 名古屋飛行場 | 成田国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/26 | スカイネットアジア航空 | ボーイング式737-800型 | JA812X | 宮崎空港 | 東京国際空港 | 降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/27 | ANAウイングス | ボンバルディア式DHC-8-402型 | JA854A | 大阪国際空港 | 松山空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/28 | 日本航空 | ボーイング式737-800型 | JA311J | 徳島飛行場 | 東京国際空港 | 巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |

| 日付 | 報告会社名 | 航空機型式 | 登録記号 | 出発地 | 目的地 | 事態の概要 | 備考 |
|------|--------------|-----------------------|--------|--------|--------|---|----|
| 9/28 | AIRDO | ボーイング式767-300型 | JA8359 | 東京国際空港 | 旭川空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/28 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NA | 神戸空港 | 長崎空港 | 運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。 | |
| 9/28 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA737N | 東京国際空港 | 鹿児島空港 | 整備作業後の確認にて、電波高度計の送受信機に使用してはいけないものが搭載されていることが判明した。 | |
| 9/28 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-100STD型 | JA02FJ | 静岡空港 | 福岡空港 | 巡航中、操縦室内で一時的に異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。 | |
| 9/29 | 全日本空輸 | ボーイング式777-200型 | JA710A | 成田国際空港 | 東京国際空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。 | |
| 9/29 | スカイマーク | ボーイング式737-800型 | JA73NG | 東京国際空港 | 福岡空港 | 上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。 | |
| 9/30 | 日本航空 | ボーイング式777-200型 | JA707J | 香港 | 東京国際空港 | 巡航中、乗客用座席のモニターから煙が発生したため、客室乗務員が消火器を使用した。 | |
| 9/30 | 新中央航空 | ルアグ式Dornier228-212型 | JA35CA | 大島空港 | 調布飛行場 | 第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。 | |
| 9/30 | フジドリームエアラインズ | エンブラエル式ERJ170-200STD型 | JA03FJ | | | 自社事例の水平展開の結果、エンジンの燃料ポンプに誤った部品番号のバックインが取り付けられていることが判明した。 | |